

2020年11月期 第1四半期 決算補足説明資料

2020年4月3日

株式会社エクスマーション

証券コード 4394



<https://www.corporate.exmotion.co.jp/>



- 受注は引き続き堅調に推移
 - 第1四半期末**受注残158百万円**（前年同期比1.1%減）
 - 第2四半期以降は新型コロナウイルスの感染拡大に注視しているが、現時点では概ね予定通り**契約更新（4~6月、4~9月）**
- 前年同期比、増収減益
 - 堅調な受注状況とコンサルティング要員増加等により、売上高は計画通りに推移、**前年同期比4.8%増**、成長に向けた投資活動により**営業利益は同3.4%減**となった
- 人材採用は順調に推移
 - 2月末までのエンジニアの**中途採用数は3名**
 - 2月末時点の**コンサルティング要員数50名**（前年同期比+5名）



業績の状況（対前年比、対計画比）

2020年11月期第1四半期決算概要【前年同期比】



(単位：百万円)

	2019年11月期 第1四半期		2020年11月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	205	100.0%	214	100.0%	+9	+4.8%
売上原価	109	53.4%	118	55.3%	+9	+8.5%
売上総利益	95	46.6%	96	44.7%	+0	+0.6%
販売費及び一般管理費	62	30.3%	63	29.7%	+1	+2.8%
営業利益	33	16.4%	32	15.1%	△1	△3.4%
経常利益	33	16.4%	32	15.1%	△1	△3.4%
四半期純利益	22	11.2%	22	10.3%	△0	△3.2%

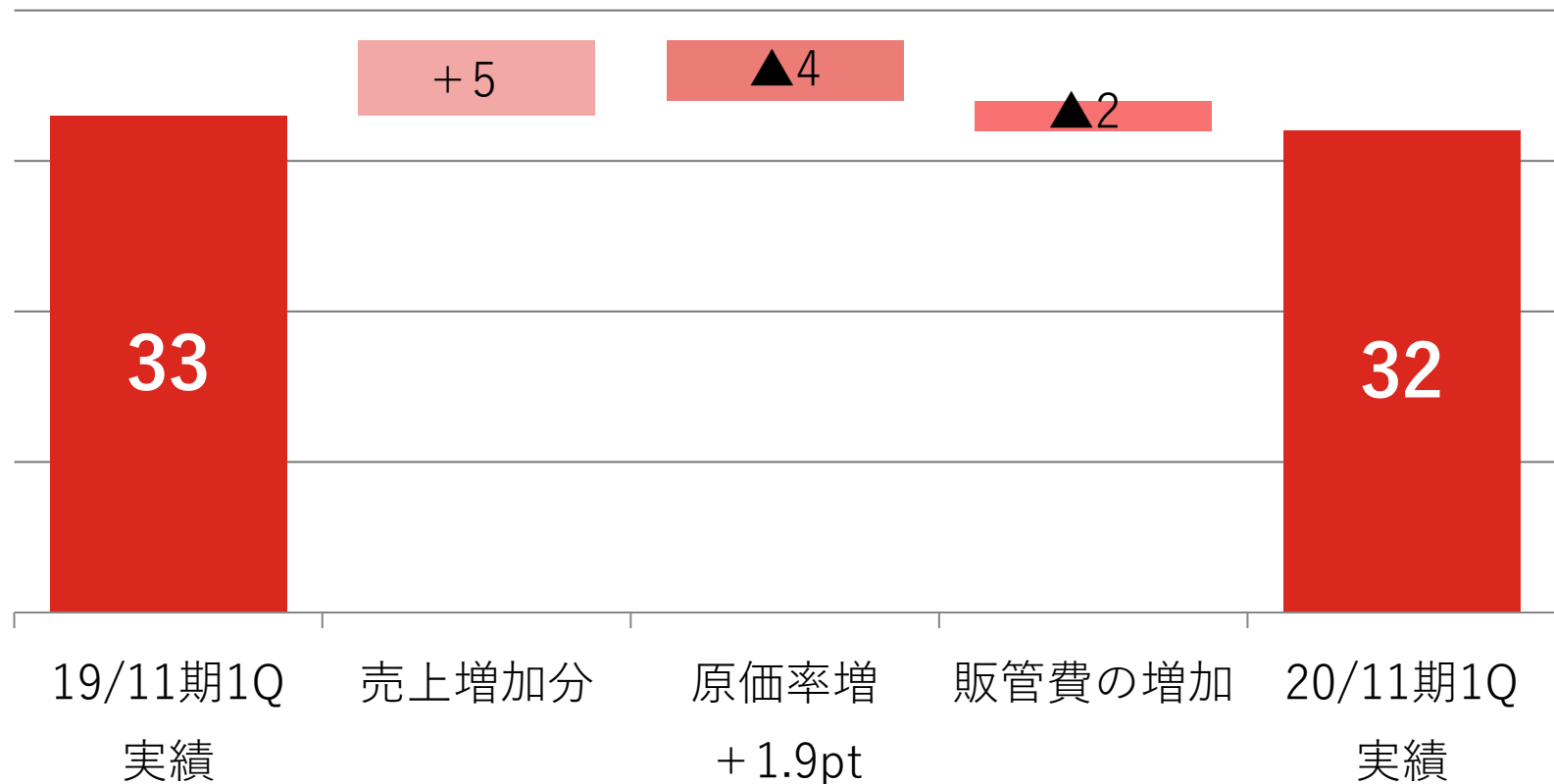
- 堅調な受注状況とコンサルティング要員の増員により、売上高は4.8%増加
- 成長に向けた投資活動により原価率増、販管費の微増により営業利益、経常利益は、前年同期比で微減

営業利益の増減要因【対前年】



- 営業利益は32百万円となり、前期比3.4%減少⇒成長に向けた投資活動により、原価率増、販管費微増

(単位：百万円)



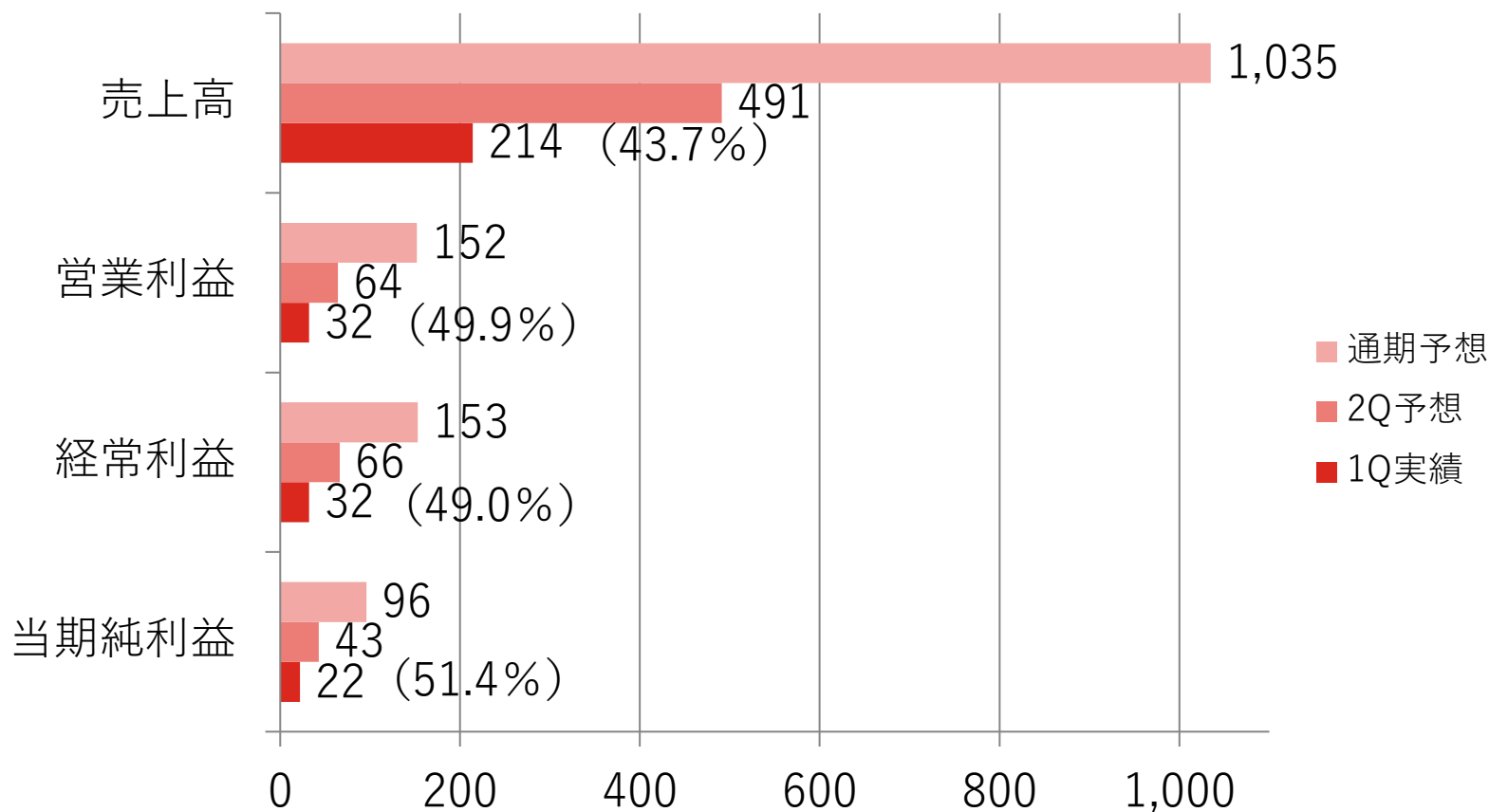
2020年11月期第1四半期決算概要【対計画比】



- 売上は第2四半期予想に対して43.7%の達成となったが、投資活動による原価率増を販管費の抑制によりカバー、営業利益、経常利益、四半期純利益は概ね5割程度の進捗となった

括弧内は第2四半期に対する進捗率

(単位：百万円)

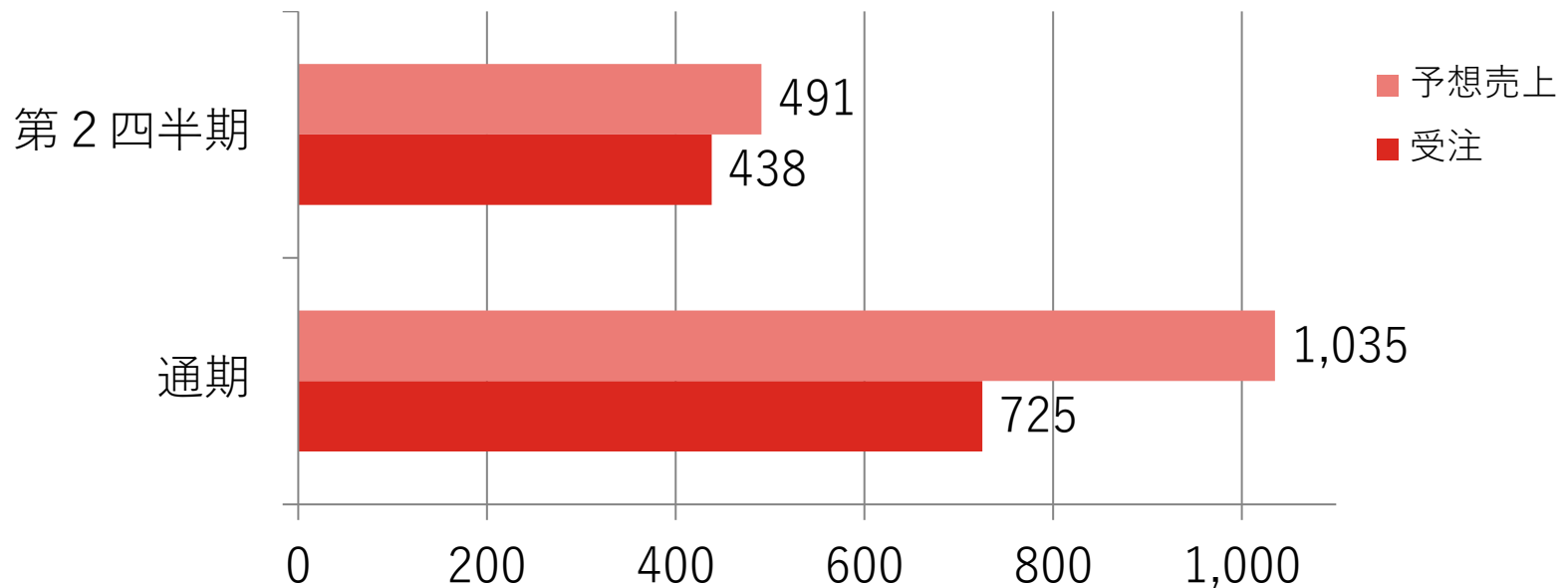




トピックス① 受注状況

- 主要取引先となる自動車関連を中心に、引き続き受注は好調であり、現時点で、第2四半期予想に対して89%、通期予想に対して70%の受注が確保されている
- 自動車関連、自動二輪、農機、医療用機器、半導体製造装置、製造設備関連等の企業と取引が堅調に推移、安定した受注に寄与した

(単位：百万円)





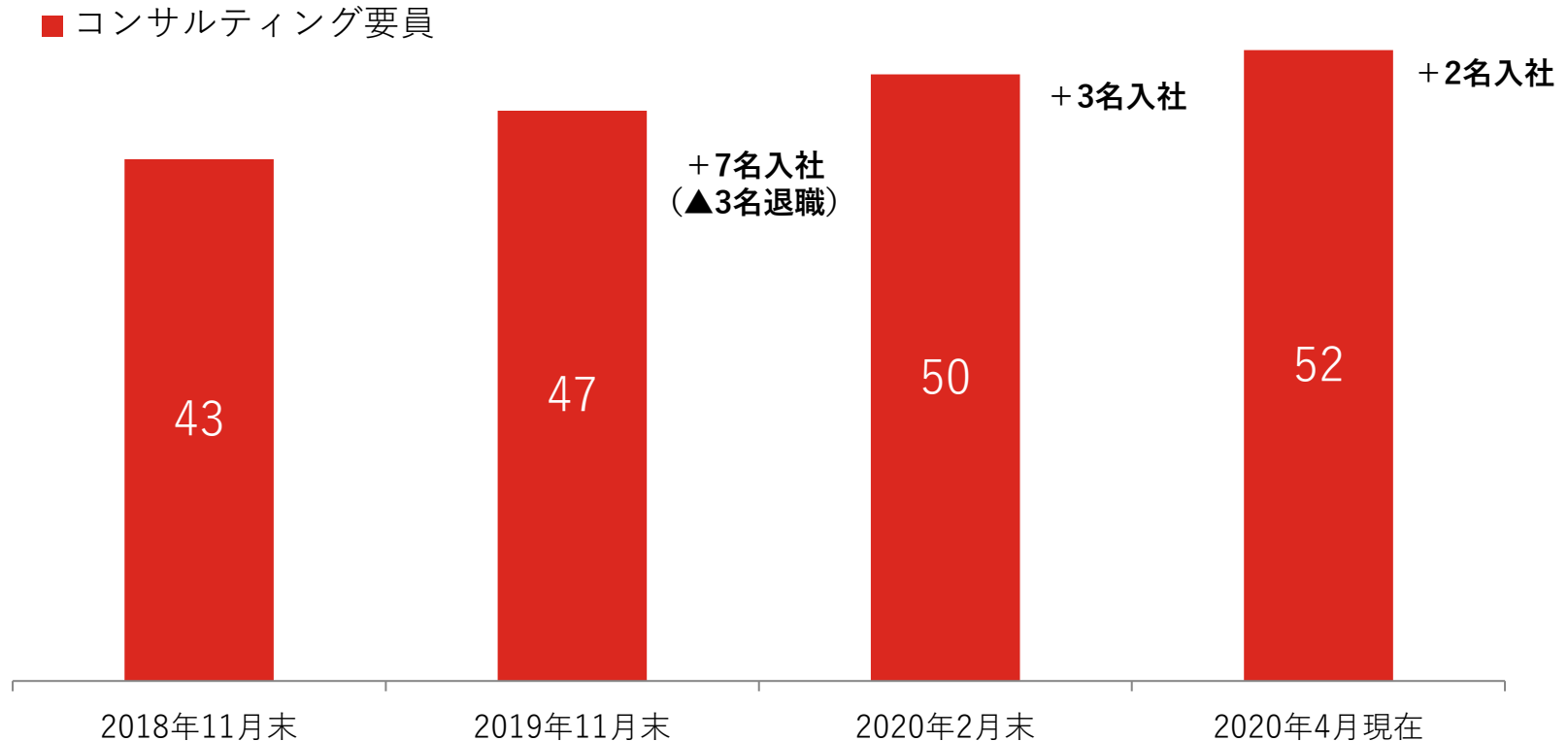
トピックス② 既存事業の進捗状況

- 全体
 - － 高度なソフトウェア開発に対する支援依頼は引き続き堅調
- 自動車分野
 - － CASE関連支援は、次世代向けにさらに加速
 - － 大手以外にも顧客層が拡大
- 自動車分野以外
 - － MBSE（モデルベースシステム開発）支援が好調
- スタートアップ支援
 - － コンサルティング契約締結1社、契約締結に向け交渉中1社等、着実に進捗
- 主なトピック
 - － エッジに閉じない、クラウドも含めたトータルな開発に対する支援が増加
 - － 全社規模での人材育成に関する需要が急増



トピックス③ 採用状況

- 即戦力となる中途採用のほか新卒採用も順調に推移し、組織も着実に成長



トピック④ 投資活動の進捗状況（既存の領域）



“コア資産のデジタル化・ストック化により、
コンサルティング事業のスケーリングを図る”

■ コア資産のデジタル化

- 今年度に取り組むコア資産の選定を完了
- デジタル化の具体的なアウトプットイメージを確定
- 年度内の社内公開を目標にデジタル化の作業を推進中

■ コア資産のストック化

- デジタル化したコア資産の一部については、外部公開の予定（2021年度）を前倒しして活動中

トピック④ 投資活動の進捗状況（新たな領域）



“新たにビジネス & テクノロジー領域への進出を図る”

■ ビジネス領域

- 学生およびエンジニア向けに、動画・研修・個別指導からなる「イノベーター発掘・育成プログラム」を開発中
 - 多くの企業・専門家の連携による充実したコンテンツと個別指導による手厚いサポートで、イノベーターの発掘・育成から出口（社内起業・社外起業）までをサポートするプログラム
 - 1Qで事業内容の検討を終え、現在は仮説検証に向けて準備中

■ テクノロジー領域

- 最新テクノロジー活用人材を育成するためのコンテンツ開発中
 - 最新テクノロジーを知る/使いこなす上で必要な基礎知識から勘所までを解説した「手引書」
 - 1Qでは、今期手掛けるテクノロジーの選択と、一部についてはコンテンツの作成に着手
 - 今年度は、まず社内での人材育成に活用、次年度に外部公開を予定



当社の事業内容、特長

会社概要



■ **社名** 株式会社エクスマーション

■ **設立** 2008年9月

■ **代表者** 代表取締役社長 渡辺 博之

■ **本社所在地** 東京都品川区大崎2-11-1 大崎ウィズタワー23F

組込みソフトウェアの品質改善に特化した各種支援の提供

1. コンサルティング

- プロジェクト診断（調査および問題発見と改善策の作成および提案）
- 現場支援（改善策の遂行に必要な技術支援）

■ **事業内容**

2. 教育・人材育成

- 現場で活用出来るスキル習得のためのトレーニング提供

3. ツール開発・販売

- ソースコード品質診断ツール「eXquto」
- Simulinkモデル品質診断ツール「MODEL EVALUATOR」
- UMLからSimulinkへのモデル変換ツール「mtrip」

■ **沿革**

2008年 9月 東京都港区芝において株式会社エクスマーション（資本金 9 百万円）設立
2009年 3月 開発ツール「eXquto」販売開始
2010年 9月 開発ツール「MODEL EVALUATOR」販売開始
2010年10月 開発ツール「mtrip」販売開始
2013年11月 ISMSおよびEMSの認証を取得（ソルクシーズグループの子会社として認証）
2017年 5月 東京都品川区大崎に本社を移転
2018年 7月 東京証券取引所マザーズに株式を上場
ISMS認証を取得

■ **構成** 取締役 8名（うち社外取締役3名）／ 社員 62名（2020年2月末現在、契約社員含む）



自動運転時代の ソフトウェア開発に不可欠な “技術参謀”

自動車を筆頭に、
第4次産業革命で急増している
組み込みソフトウェア開発の課題を解決する
新しいスタイルのコンサルティングファームです

“設計技術”に特化した技術参謀 = エクスモーション



“設計技術”を得意領域とする当社が、技術参謀という新たなロール（役割）で
組み込みソフトウェアの大規模・複雑化を解決します

大規模・複雑化時代の新たな開発体制



エクスモーション

リーダーやメンバーを
開発現場で支え続ける
技術参謀

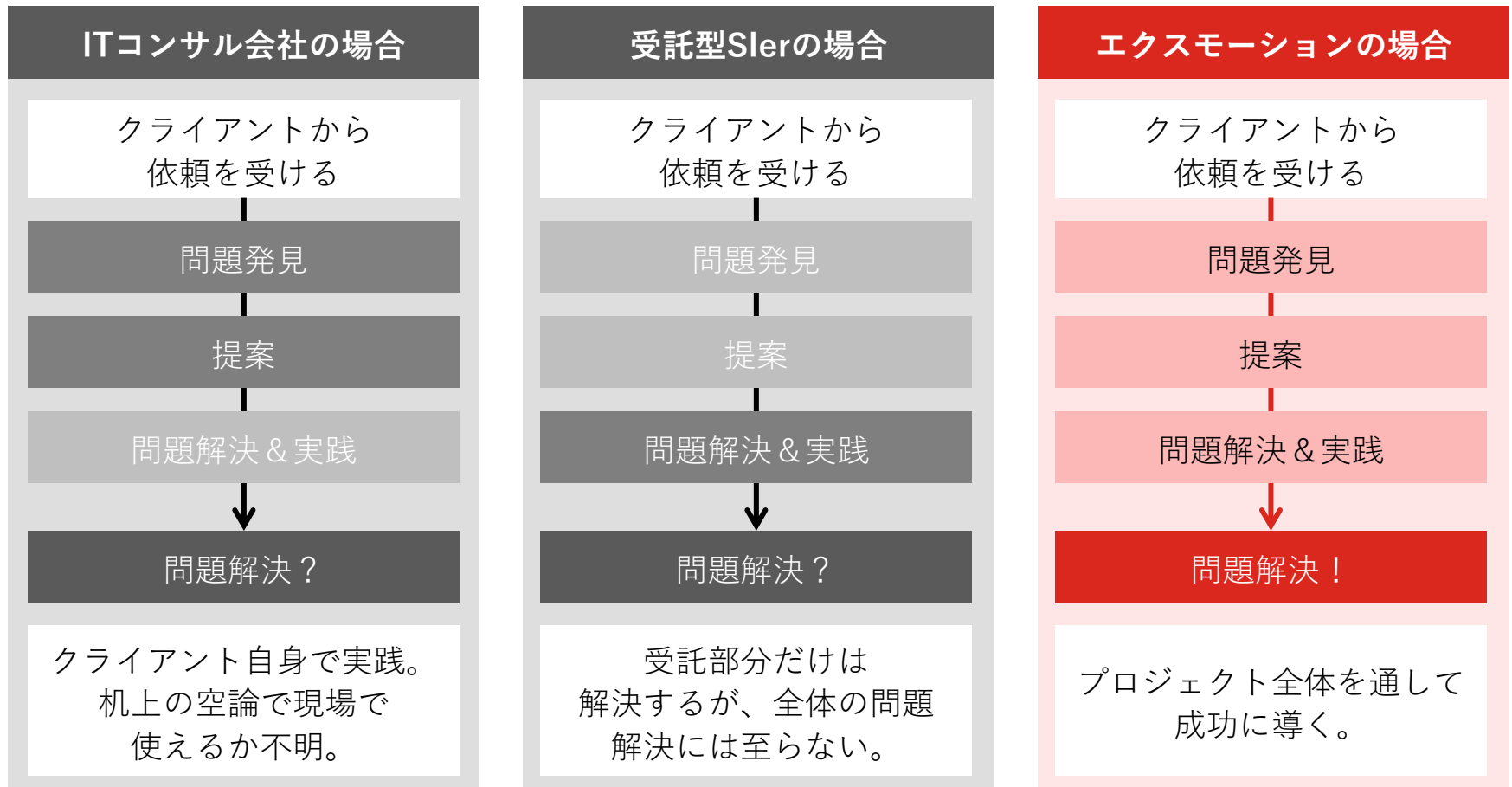


組み込みソフトの
“設計技術”
に特化した支援

実践的スタイルのコンサルティング



『問題発見 ⇒ 提案 ⇒ 問題解決 & 実践』のワンストップで解決する
実践的なコンサルティングスタイルに専門特化することで、
競合皆無のオンリーワンビジネスを展開しています



主な得意先



- 日本の産業をリードする自動車分野で、最先端の製品開発を支援しています

対象製品

自動運転（ADS）、先進安全支援（ADAS）、ハイブリッド（HEV）、電気自動車（EV）、燃料電池（FCV）、インフォテインメント（IVI）等

主要 クライアント

メーカー：トヨタ自動車、本田技術研究所、SUBARU等
サプライヤー：デンソー、日本精工、ケーヒン等

- 自動二輪、建設機器、農機、医療、産業機械、鉄道等、あらゆる分野での開発支援にも数多く携わっています

主要 クライアント

自動二輪：ヤマハ発動機
農機：ヤンマー
建機：コマツ
産業機械：パナソニック スマートファクトリーソリューションズ
鉄道：三菱電機コントロールソフトウェア



当社の実践的なコンサルティングスタイルに対して
多くのクライアントから高い評価が寄せられています

株式会社SUBARU

「開発者とは別の視点で、見落としている
改善箇所の指摘や提案をもらっている」

日本精工株式会社

「ソフトウェア開発の領域だけでなく、上位の
システム開発の領域まで一緒に親身になって
考えてくれるので、非常に助かる」

ヤマハ発動機株式会社

「一般的なコンサルティングとは異なり、現場に
深く入り込んで実践的な開発スタイルを共に作り
上げて頂いている。」

パナソニック スマートファクトリー ソリューションズ株式会社

「当社の現場に入り込んで、現場目線で提案を
する姿勢に信頼感が湧く」

株式会社デンソー

「全体をしっかり俯瞰して質の高い
アーキテクチャやシステムを作ることのできる
エクスマーションのスキルはとても貴重」

株式会社ケーヒン

「上流工程で考えを整理するという手法は、日頃
の量産開発で「着実に作り込む」ことだけに注力
しがちなわれわれにとって、非常に新鮮」

免責事項



本発表において提供される資料ならびに情報は、株式会社エクスマーション（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としておりますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合がございます。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。



資料に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

TEL:03-6420-0019
mail: corporate@exmotion.co.jp
担当:経営企画室 小瀧